



の いる 風 景

# 佐々木 義朗さん



【ささき よしろう さん】 52歳 幌美内

- 丸駒温泉株式会社 代表取締役社長
- 平成27年7月から支笏湖温泉旅館組合の組合長を務め、支笏湖地域の振興に尽力している。

## 支笏湖で「美肌効果の湯」 楽しんでみませんか

「支笏湖では、泉質のちがう二つの温泉が楽しめます」と話すのは、支笏湖温泉旅館組合の組合長を務める佐々木義朗さんです。

一つは支笏湖温泉。昭和50年に泉源が開発され、各ホテルに配湯を開始。それから40年が経過、湧出量も減少して枯渇が心配されたため、これまでよりも成分の多い新たな泉源が発掘され、平成25年4月から配湯している。

もう一つは、大正4年に開湯した、支笏湖で最も古い丸駒温泉。

佐々木さんは、大学で経営学を学んだ後、沖縄県国頭村や千歳市内のホテルに勤めた経験がある。丸駒温泉株式会社には、平成3年から勤務する。

趣味は料理、「ストレスの解消になるんですよ」と笑う。

歌は、沖縄県出身のバンド、BEEG INの「島人ぬ宝」や「三線の花」がお気に入り。「特に『三線の花』は、沖縄の方の性格や人間性が凝縮してお

り、この歌を聴くと沖縄に住んでいたときのことを思い出す」と振り返る。

支笏湖温泉旅館組合は、支笏湖地域で旅館業を営んでいる事業者で構成しており、支笏湖の利用者を増やすため、合同のパンフレット作成、新聞社やテレビ局などへの情報発信、札幌駅を結ぶシャトルバスの運行、地域イベントの協力・PR活動などを行っている。

「事業者同士が競い合うことも大切ですが、まず、全体でお客さまを支笏湖に呼び込むことが必要。もっと気軽に行き来できるように、観光だけでなく、地域のためにもバスの利便性を高めた」と思いを語る。

現在、支笏湖の新しい名産品づくりとして、支笏湖漁業協同組合では、採卵後のヒメマス（親魚）を使った調味料「魚醬」の開発に取り組んでいる。

地域の関係者として開発に参加している佐々木さん、「まだ試作段階ですが、料理のメニューなどを検討して、

夏頃から商品化できる見込み」と話す。

この魚醬は、支笏湖で限定販売されるほか、ホテルや商店街で提供する料理にも隠し味として使用される予定。

「最近、支笏湖温泉商店街の空き店舗に若い世代の方が入ってきたので、これからは、今まで以上に活気がでてくると思う。旅館組合としても、商店街の皆さんと連携して、支笏湖のPRなど、全体でうまくやっていきたい」と意気込みを話す。

支笏湖温泉は、「ナトリウム・炭酸水素塩・塩化物温泉」、丸駒温泉は、「ナトリウム・カルシウム・塩化物・炭酸水素塩・硫酸塩泉」を成分としている。

どちらの温泉も保温効果が高く、湯冷めがしにくい「美肌効果の湯」です。

「支笏湖の温泉は、市の宝であり、泉質のちがう二つの温泉が湧出していることは、もっと自慢して良いと思います。皆さんも支笏湖で二つの温泉を楽しんでください」と話してくれました。